

事務事業マネジメントシート
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	決算書作成事務		所属部局	会計課	単位番号	8003	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	会計課	課長名	管理者 櫻本政明	
			所属担当	出納・審査	担当者名	饗場 伸	
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項目 01 05 020 03
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
施策	01	財政の健全化の推進					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠	地方自治法233条		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H23年度の会計別に収入、支出の確定額をまとめ、地方自治法の規定による法定資料として冊子にする。			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)			
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
				需用費	1,601		
						計	1,601

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績: H23年度の会計別に収入、支出の確定額をまとめ、9月定例議会に提出。 25年度活動予定: H24年度の会計別に収入、支出の確定額をまとめ、9月定例議会に提出。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	「一般会計決算」と各「特別会計決算」
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	法に基づき適正かつ正確に作成することにより、決算状況を分かりやすく理解することができ、また、前年度と比較することができる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	会計事務の適正な執行となる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア: 決算書作成日数	日
	イ: 必要件数	件
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア: 会計別処理件数	件
	イ: 事業執行率	%
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア: 適正予算執行率	%
	イ: 今年度決算額/前年度決算額(歳入)	%
	ウ: 今年度決算額/前年度決算額(歳出)	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア: 適正予算執行率	%
	イ: 実質収支比率	%

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,678	1,601	1,643	1,643	1,643	1,643		
		事業費計(A)	千円	1,678	1,601	1,643	1,643	1,643	1,643		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160	160		
		人件費計(B)	千円	634	634	634	634	634	634		0
		(A)+(B)	千円	2,312	2,235	2,277	2,277	2,277	2,277		0
	活動指標	ア: 件	20.0	220.0	18.0	220.0	18.0	220.0	18.0		
		イ: 件									
	対象指標	ア: 件	19.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0		
		イ: %	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0		
		ウ: %									
	成果指標	ア: %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		イ: %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		ウ: %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	上位成果指標	ア: %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		イ: %	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	地方自治法の規定による。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	変わらない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	見やすい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	印刷部数の削減、機構改革や配布部数の見直しにより、250部から210部に削減した。各企業会計でそれぞれ作成していたものを1冊の冊子にした。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	各担当からの取りまとめがスムーズに行くようインフォメーション等を活用し、周知を徹底した。各担当が主要施策を作成するにあたり、作成時間が短縮できるように一部記載方法を簡素化した。

事務事業名	決算書作成事務	所属部	会計課	所属課	会計課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 1年分を一般会計・特別会計別に作成することにより、適正な予算執行を確認することが出来る。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 財務会計システムより抽出するため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 全ての予算執行が適切であるかを見極めるための資料となるため、見直しの余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 冊子のページ数により若干の変更はあるが、現状は殆ど変更がない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 議会認定に付する整然とした決算書等が出来ない。 手作業では、2冊900ページに及ぶ整然とした議会提出書類の作成が困難である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 確定数値で作成するため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 各担当からの取りまとめを、時間配分によりスムーズに行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 指名参加入札により行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	印刷予算の削減 「主要施策等の成果」の印刷については、次長以上の管理職と議会への配布部数として、担当部署は当初予算の常任委員会別の「概要書」の例により印刷部数を削減する。現在225部から110部に削減、単価は上がるが全体コストの削減が可能。 「決算書」の印刷部数については、「当初予算書」の印刷部数とあわせて検討し削減を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					